

第三期からの主な変更点

- GPS のログ提出を追加した。
- 土壌炭素蓄積量調査の位置を変更した。
- 周囲立木調査を廃止した。
- 初年度の混合試料検証試料の採取を廃止した。
- 石礫率判定時の参照はマニュアルのイメージ図で良いとした。
- 定体積試料のブロックサンプリングでの採取方法を修正した。

その他の修正

- 枯死木調査で分岐した根株の測定方法を修正し、その他の形状も含めて測定方法を例示した。
- 石礫率のイメージ図、調査のチェックポイントを巻末に記載した。
- 様式に細かい変更を加えた。

マニュアルの概要

この事業の目的は、全国の森林における枯死木、堆積有機物、土壌の炭素量データを定められた方法で収集することにある。現地調査では、あらかじめ決められた調査プロット内の決められた場所で、枯死木のサイズを測定し、堆積有機物を採取し、土壌を採取する。本マニュアルは現地調査のために必要なことについて記載してある。大きさはA 4 版とA 5 版（携帯用の耐水紙版）があるので、希望に応じて配布可能である。

【このマニュアルの使い方】

現地調査では常に持参し、わからないことがあれば本マニュアルを確認すること。様式については、Excel あるいは pdf で配布されるので、それを印刷して使用する。

【マニュアルの見方】

6 ～ 21 頁および 34 ～ 53 頁においては、基本的に左ページに手順、右ページに注釈が書いてある。

左頁で青字で書かれているものは、右頁に詳細な説明がある。詳細な説明部分に関しては、（）のマークを配置してあるので、適宜参照しながら作業を進めること。

写真撮影が必要な箇所が複数あるので、撮影が必要な箇所にはカメラの記号（）を配置しわかりやすくした。また、94 頁に必要な写真の一覧を掲載した。

各項目のF A Qを黄色地の枠内に記載した。

青い四角の枠で囲ってある部分は補足的な説明である。

